1.環境チャレンジ目標2030

【環境チャレンジ目標 ✔

エコチャレ

2030

目標年度:2030年度

2030年に向けた 環境チャレンジ目標を 2018年度に策定し、 取り組みを 推進しています。





2050年度には、 <mark>排出量実質ゼロ</mark>を 目指す!

事業活動における CO2排出量を半減!

重点施策

- ●設備更新/車両更新
- ●省エネチューニング
- ●太陽光自家発電· 自家消費
- ●電気自動車・トラックの導入
- ●コープでんきへの切替



事業活動における 食品廃棄物を半減!

重点施策

- ●店舗廃棄重量削減
- ●フードバンクなどへの 食品提供拡大
- ●食品リサイクル率向上





事業活動における プラスチック使用量を **25%削減!**

重点施策

- ●プラスチック製容器包装の削減
- ●再生プラやバイオプラなど 代替素材への切り替え推進
- ●プラ削減につながる商品・サービスの 開発・供給促進



環境に配慮したエシカルな 商品やサービスの 開発・供給推進!

重点施策

- ●環境配慮型のエシカルな 商品・サービスの 開発・供給推進
- ●地産地消の推進



組合員とともに エシカル消費を<u>拡大!</u>

重点施策

- ●エシカルな商品、 エシカルなくらしの あり方に関する 学習・広報の推進
- ●組合員とともに エシカル消費を拡大



2. 「環境チャレンジ目標2030」にもとづく2022年度計画

〈チャレンジ1〉CO2排出量を半減!

- 再エネ100%事業所の運営
- 新事業所へ太陽光発電を設置し、自家発電・自家消費施設を増やす
- 省エネサービス等を活用し、継続して各事業所での省エネに注力
- 宅配センターにEVトラック等の電気自動車を導入
- 設備更新の際、省エネ設備への切替えを促進

〈チャレンジ2〉食品廃棄物を半減!

- 食品リサイクルループの取り組みを強化し、食品廃棄物削減・リサイクル率向上を促進
- コープ土づくりセンターの老朽化対応に着手し、さらなる食品リサイクル率向上を目指す

〈チャレンジ3〉プラスチック使用量を25%削減!

- 使い捨てプラ製カトラリー(スプーンやストロー)の配布を中止し、木製や紙製へ切り替え
- 脱プラ商品の開発や包材の薄肉化、畜産ノントレイの導入拡大を促進
- 食品工場の自己生産品(食パン)にて、プラスチック包材の薄肉化を促進
- ●「マイバッグ運動NEXT」(「減らす」「増やす」「広める」)の推進強化
- 組合員・職員向け学習会の強化及び「語り手(組合員・職員講師)」の活躍支援

〈チャレンジ4〉環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進!

- エシカル強化月間を中心に、エシカルな商品の企画・供給を促進
- 電気の「地産地消」紹介動画の活用、「コープでんき」契約軒数拡大、新たな電源開発を推進
- 東播磨地域「ボトルtoボトル」の取り組み継続、「つめかえパック」回収・リサイクルの取り組み継続
- 寄付機能付きペットボトル回収機の設置(及び寄付金の贈呈)、海洋プラかごの設置

〈チャレンジ5〉組合員とともにエシカル消費を拡大!

- エシカルやSDGsに関する学習会(オンライン含む)を実施し、地域全体で取り組みを推進
- フードドライブ常時受付(全コープ店)継続、店舗・宅配での集中取り組みを年2回(9月・1月)開催
- 食品ロス削減に関する連載記事を『きょうどう』にて掲載
- SDGsの普及・推進策としてコープタッチ・アプリの活用、他企業との協同企画による推進を検討
- 地域団体との協同で環境学習(例:コープ龍野「プラエコ」企画)を推進
- 折り込みチラシにて古紙め一む・宅配内袋の返却を組合員へ呼びかけ、回収率向上を促進
- ラジオ関西にて環境の取り組み(「コープエコのはなし」)を毎月放送
- 2022『コミュニケーションレポート』を発行、組合員や各ステークホルダーとのコミュニケーションを強化

CO2削減の取り組み



業態	単位	合計	店舗	工場	宅配	物流	本部	福祉	子会社
2013年度実績	t-CO2	129,354	68,898	15,765	11,573	17,172	3,051	53	12,842
2020年度実績	t-CO2	78,983	29,923	14,187	9,775	14,003	1,479	170	9,447
2030年度計画	t-CO2	66,595	29,962	12,541	7,165	7,092	2,087		7,748
2030年度計画/2013年度実績	%	51	43	80	62	41	68		60
2020年度実績/2013年度実績	%	61	43	90	84	82	48	321	74

太陽光発電の取り組み



コープこうベグループが進める発電所一覧

2022年5月時点

						20	22年5月時点
	発電所	所在地	稼働開始	売電/ 自家消費	出力規模 (kW)	年間予想発電量 (kWh)	世帯数換算 (※) (世帯)
1	生活文化センター	兵庫県神戸市東灘区田中町	2007年 7月	自家消費	30.0	26,662	7
2	住吉事務所	兵庫県神戸市東灘区住吉本町	2007年11月	自家消費	3.4	6,650	2
3	コープ甲子園口	兵庫県西宮市二見町	2009年11月	自家消費	20.0	24,468	7
4	コープ住宅本社	兵庫県神戸市垂水区福田	2013年 3月	売電	20.0	22,320	6
5	鳴尾浜	兵庫県西宮市鳴尾浜	2013年 9月	売電	825.3	833,770	231
6	稲美	兵庫県加古郡稲美町	2013年 9月	売電	150.9	154,350	43
7	北神戸	兵庫県神戸市北区八多町	2013年11月	売電	258.0	259,833	72
8	姫路東	兵庫県姫路市別所町	2014年 1月	売電	309.6	311,141	86
9	氷上	兵庫県丹波市氷上町	2014年 3月	売電	305.3	292,280	81
10	高槻	大阪府高槻市玉川	2014年 6月	売電	257.0	254,131	71
11	三木三津田	兵庫県三木市志染町	2014年 9月	売電	2590.0	2,494,904	693
12	あこや学園	兵庫県尼崎市三反田町	2015年 6月	売電	26.4	28,355	8
13	西播磨	兵庫県たつの市揖西町	2015年 6月	売電	508.1	611,171	170
14	神吉	兵庫県加古川市東神吉町	2015年 6月	売電	50.8	57,802	16
15	WJS魚住	兵庫県明石市魚住町	2016年 2月	売電	360.6	370,990	103
16	須磨	兵庫県神戸市須磨区弥栄町	2016年 3月	売電	234.5	238,693	66
17	尼崎	兵庫県尼崎市猪名寺	2016年 3月	売電	217.0	220,880	61
18	丹波	兵庫県篠山市吹新	2016年 3月	売電	175.0	168,067	46
19	大王丹波	兵庫県丹波市山南町	2016年 7月	売電	501.6	535,679	148
20	箕面	大阪府茨木市藤の里	2016年 9月	売電	178.5	179,485	49
21	淡路	兵庫県南あわじ市榎列	2016年12月	売電	60.0	62,135	17
22	川西	兵庫県川西市東畦野	2017年 3月	売電	50.0	48,226	13
23	西神戸	兵庫県神戸市西区玉津町	2017年 6月	売電	608.6	586,983	172
24	伊丹	兵庫県川西市久代	2017年 9月	売電	212.2	206,001	57
25	協同購入センター伊丹	兵庫県川西市久代	2017年10月	自家消費	29.12	28,250	8
26	コープデイズ神戸西	兵庫県神戸市西区池上	2018年10月	自家消費	158.4	164,891	46
27	コープデイズ豊岡	兵庫県豊岡市加広町	2018年11月	自家消費	207.36	199,540	55
28	コープ西明石	兵庫県明石市北町	2019年 7月	自家消費	47.52	51,618	14
29	トヨタ神戸自動車大学校	兵庫県神戸市西区学園東町	2019年 8月	売電	77.3	87,951	24
30	協同購入センター淡路	兵庫県南あわじ市榎列	2019年12月	自家消費	22.32	24,636	7
31	みずほ協同農園 ソーラーシェアリング	兵庫県三木市細川町	2020年 1月	売電	82.9	91,480	25
32	コープライスセンター	兵庫県加古郡稲美町	2020年 4月	売電	226.8	267,157	74
33	協同購入センター西神戸	兵庫県神戸市西区玉津町	2020年 4月	自家消費	32.56	37,226	10
34	協同購入センター北神戸	兵庫県神戸市北区八多町	2020年 4月	自家消費	11.1	12,691	4
35	協同購入センター姫路東	兵庫県姫路市別所町	2020年 4月	自家消費	22.2	25,381	7
36	協同購入センター尼崎	兵庫県尼崎市猪名寺	2020年 4月	自家消費	24.8	28,354	8
37	糀屋	兵庫県多可郡多可町	2020年12月	売電	308.0	306,376	85
38	八千代	兵庫県多可郡八千代区	2021年 4月	売電	508.2	518,681	144
39	コープ西宮南	兵庫県西宮市	2021年 6月	自家消費	108.8	91,463	25
40	コープ上郡	兵庫県赤穂上郡町	2021年10月	自家消費	222.7	214,288	60
41	コープ大久保	兵庫県明石市大久保町	2021年11月	自家消費	192.1	190,058	53
42	コープ安倉	兵庫県宝塚市安倉南	2021年12月	自家消費	64.6	60,328	17
	合計				10,300	10,395,345	2,891

^(※)一般家庭の年間消費電力量を1世帯あたり3,600kWhとして算出

再生可能エネルギー100%事業所(8事業所)

2022年5月時点

	事業所名	所在地	運転開始
1	住吉事務所	兵庫県神戸市東灘区住吉本町	2020年 1月
2	生活文化センター東館	兵庫県神戸市東灘区田中町	2020年 1月
3	生活文化センター西館	兵庫県神戸市東灘区田中町	2020年 1月
4	協同学苑	兵庫県三木市志染町青山	2020年 1月
5	協同購入センター伊丹	兵庫県伊丹市中野北	2020年 1月
6	コープデイズ豊岡	兵庫県豊岡市加広町	2020年 1月
7	コープデイズ神戸西	兵庫県神戸市西区池上	2020年 1月
8	コープ西明石	兵庫県明石市西明石北町	2020年 1月



再生可能エネルギー100%施設とは

使用する電気を太陽光や 木質バイオマス発電による 電気(FIT電気)でまかなう施設です。

リサイクル活動の取り組み



組合員からの回収量
(単位:kg)

	回収	業態	2017	2018	2019	2020	2021
回収品目	店舗	宅配	2017	2018	2019	2020	2021
紙パック	0	0	307,783	308,615	312,584	339,780	331,890
飲料缶	0		261,338	247,695	245,792	260,348	244,983
発泡トレイ	0		161,132	157,306	160,046	165,876	155,401
ペットボトル	0		490,831	521,262	509,453	507,425	505,171
ペットボトルキャップ	0		28,388	31,674	33,128	35,770	36,739
透明トレイ・卵パック	0		121,804	128,316	143,501	175,029	188,984
卵パック		0	39,057	43,316	48,748	48,875	48,095
商品カタログ「めーむ」		0	7,054,323	7,942,317	7,976,606	8,207,127	7,961,583
商品配達用ポリ袋・帳票袋		0	102,018	120,441	142,963	144,439	145,949

使用済小型家電回収BOXの設置状況

コープこうべでは、行政の回収のしくみや要請に応じて、回収ボックスを設置しています。

2022年5月時点

			2022-07183///
	行政区	回収開始	店舗名
1	神戸市	2014年 4月	コープリビング甲南
2		2012年11月	コープ西明石
3		2017年10月	コープ大蔵谷
4	明石市	2019年 9月	コープ朝霧
5		2019年 9月	コープ大久保
6		2019年 9月	コープ魚住
7		2015年11月	コープ武庫川
8		2015年11月	コープ北口食彩館
9		2015年11月	コープ西宮東
10	西宮市	2017年 4月	コープ甲陽園
11		2017年 4月	コープ西宮南
12		2017年 4月	コープマリナパーク
13		2017年 4月	コープ西宮北
14	高砂市	2016年10月	コープ高砂

※小型家電リサイクル法

使用済み小型家電に含まれる鉄やアルミ、レアメタルなどの貴重な資源の再資源化を目的とした「小型家電リサイクル法」に基づき、各自治体では使用済み小型家電の回収を進めています。 回収した使用済み小型家電は、国の認定事業者によって回収され、資源として生まれ変わります。

羽毛布団・ダウンジャケット回収店舗【28店舗】

2022年5月1日時点

	回収開始日	店舗名	2022年5月1日時点住所		
1	2018年10月1日		神戸市北区日の峰2丁目7		
2		シーア	神戸市東灘区住吉本町1丁目2番1号		
3		 コープデイズ神戸西	神戸市西区池上3丁目3番1号		
4		コープデイズ相生	相生市旭3丁目7番6号		
 5		コープデイズ芦屋	芦屋市大原町9-1-304		
 6		コープ西宮	西宮市池田町11番1号		
7	2019年5月1日	コープ姫路田寺	姫路市田寺3丁目3番11号		
8		コープ横尾	神戸市須磨区横尾1丁目5番地(リファーレ横尾)		
		コープ大久保	明石市大久保町大窪字横山2545-8 		
10		コープ西宮北	西宮市山口町下山口5丁目13番22号		
11		コープ北口食彩館	西宮市北口町1番2号136		
12		コープデイズ豊岡	豊岡市加広町7-32		
13		コープ深江	神戸市東灘区深江北町3-9-15		
14		コープ宝塚	宝塚市中州1-1-1(アピアきた内)		
15		コープ安倉	宝塚市安倉南4-38-1		
16		コープ園田	尼崎市東園田町4-104-1		
17		コープ三木緑が丘	三木市緑が丘町中1-7-1		
18		コープ志染	三木市志染町西自由が丘1-166		
19		コープ西明石	明石市西明石北町1-2-1		
20	2020年5月1日	コープ高砂	高砂市松陽1-10-43		
21		コープ龍野	たつの市龍野町島田10-1		
22		コープ兵庫	神戸市兵庫区駅南通5-1-2-100		
23		コープ西神	神戸市西区春日台3-3(かすがプラザ内)		
24		コープ仁川	宝塚市仁川北2-7-1(さらら仁川南館)		
25		コープ鈴蘭台東	神戸市北区鈴蘭台北町1-12-5		
26		コープ魚住	明石市魚住町錦が丘4-3-1 (魚住モール内)		
27		コープ東豊中	豊中市東豊中町4-3-13		
28		コープリビング甲南	神戸市東灘区甲南町2-1-20		

グリーンダウンプロジェクト

羽毛は水鳥から採取される有限な資源です。

需要の高まりに対し、羽毛資源は減少傾向です。 限りある資源を有効活用する取り組みとして、 羽毛布団・ダウンジャケットの回収・リサイク ルを開始しています。

回収した羽毛製品は、洗浄・精製加工され、再 生羽毛 (グリーンダウン) として、広く社会で有 効利用されます。



食品リサイクルの取り組み



2021年度

①リサイクル量	t	トン	3,993.9
	野菜・肉の加工くず堆肥化(コープ土づくりセンター)	トン	627.2
店 舗	肉の加工くず飼料化(外部委託)	トン	6.7
	魚アラの飼料化(外部委託)	トン	466.4
	バイオマス発電への投入	トン	664.1
	パン耳等の飼料化	トン	183.0
	おからの乾燥・飼料化	トン	587.3
食品工場	おからの乾燥(水分量)	トン	1,383.8
	製造くずの堆肥化(コープ土づくりセンター)	トン	0.0
	生ごみ(家畜飼料)	トン	15.5
	廃油(余剰分回収)	トン	59.7
②食品廃棄物	の廃棄量	トン	1,478.4
リサイクル率	①÷(①+②)	%	73.0
食品リサイクル	レ法上の再生利用等実施率	%	81.2

[※]食品リサイクル法上の再生利用等実施率には、発生抑制量などが勘案されています。

1.コープ土づくりセンターでのリサイクルについて

神戸・三木・明石・芦屋・西宮市内の49店舗から野菜と肉の加工くずを回収しています。回収した加工くずは、三木市にあるコープ 土づくりセンターで、堆肥製造の原料として活用されています。製造された堆肥は、土づくりセンターに隣接する(有)みずほ協同農園 で使用され、収穫した農作物はコープこうべの店舗で供給されています。

2.食品工場でのリサイクルについて

- ①豆腐製造の際に発生する生おからを乾燥し、飼料の原料として売却しています。
- ②おから以外の食品廃棄物を分解し、その過程で発生するメタンガスを取り出し、工場内の燃料として活用しています。

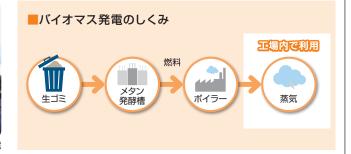
メタン化

六甲アイランド食品工場のバイオマス発電

パンや豆腐などを 製造する六甲アイラ ンド食品工場では、 メタン発酵を利用し たバイオマス発電な どにより、約98.6% の食品廃棄物をリサ イクルしています。



バイオマス発電



コープ土づくりセンターの実績

年度		2017	2018	2019	2020	2021
食品残さ回収量(原料投入量)	トン	665	681	451	695	657
堆肥生産量	トン	141	100	84	94	99

環境学習/くらしの見直し【エコファーム】



エコファーム利用者の推移

年度		2017	2018	2019	2020	2021
体験農園(貸U農園)区画数	区画	239	217	176	143	134
マイファーム(ミニ農園オーナー制)参加家族数(のべ)	家族	688	534	364	398	431
視察学習訪問者数(のべ)	人	1,245	848	1,022	3	44
エコファームくらぶ(ボランティア)参加者数	人	59	44	46	24	27

マイバッグ運動の取り組み



1.マイバッグ運動の成果

		2017	2018	2019	2020	2021
持参率	%	86.8	89.9	91.2	91.5	90.8
節約枚数	枚	72,661,742	75,132,824	75,639,899	73,778,494	72,352,447
原油節約量(2000のドラム缶に換算)	本	6,867	7,100	7,148	6,972	6,837

2.レジ袋代金の活用

2021年度に活用したレジ袋代金 3,589万1,828円 2021年度に活用したレジ袋代金の内訳は、以下のとおりです。	
項目	金額(円)
● 森林整備による生物多様性保全及び食・くらしと環境のつながりの体験学習推進。● 地域での活動を支える基盤づくりのために、西宮市や近隣の学校等と連携強化。	2,013,711
「ひょうご地魚推進プロジェクト(とれびち)」「兵庫地場野菜振興プロジェクト(とれしゃき)」を通じ、食べものと食文化、 生態系・環境とのつながりに気づき、広める取り組みを支援。地区単位で体験的学習のフィールドを設定して行っている活動への支援。	1,116,062
● エコファームの活性化対策(学習教材の充実と展開、展示パネル修繕等)。	384,340
●「マイバッグ運動NEXT」での脱プラ推進のための新たな取り組みの実施。 ①寄付機能付きペットボトル減容圧縮機(2台)の導入。 ②新コープ西宮南等にて海洋プラごみ製買い物カゴ(3,000個)を導入。	6,655,000
● 再生可能エネルギーやリサイクル・脱プラスチックなど、組合員向けのオンライン学習交流会の開催。 「もったいない大賞」受賞記念企画や広報に活用。	1,282,600
● コープ甲子園口の壁面緑化のメンテナンス。	370,700
●容器包装のリサイクルに必要な費用の一部に充当。	24,069,415

3.行政や消費者団体とのレジ袋削減協定

3.1.	以で用する凶ど		加化		
	行政区名	締結年月日	三者協定締結日	他社	協 定 名
1	神戸市	2006年12月27日	2007年12月22日 (2011年12月22日更新)	•	レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
2	西脇市	2007年3月13日			マイバッグ運動の取り組みに関する協定
3	三木市	2007年3月29日	2009年1月16日 (2009年1月16日更新)	•	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
4	明石市	2007年5月22日	2011年11月25日	•	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
5	豊岡市	2007年5月25日			レジ袋削減の取り組みに関する協定
6	姫路市	2007年5月29日	2008年9月1日	•	姫路市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
7	相生市	2007年5月30日	2008年7月20日	•	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
8	芦屋市	2007年5月31日			レジ袋削減に向けたマイバッグ運動の取り組みに関する協定
9	西宮市	2007年6月25日	2011年3月24日 (2015年4月1日更新)	•	西宮市レジ袋の削減等に関する協定
10	丹波市	2007年7月10日			レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
11	稲美町	2007年7月12日	2016年6月3日	•	稲美町におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
12	三田市	2007年8月24日	2008年12月15日	•	三田市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
13	加古川市	2008年1月26日	2008年1月26日 (2015年11月17日更新)	•	加古川市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
14	上郡町	2008年3月3日	同左	•	マイバッグ持参運動推進の取り組みに関する協定
15	たつの市	2008年8月8日	同左	•	レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
16	尼崎市	2008年10月3日	同左 (2015年2月19日更新)	•	尼崎市におけるレジ袋削減等に関する環境協定
17	加西市	2009年8月24日	同左	•	加西市におけるレジ袋削減等に向けた取り組みに関する協定
18	宝塚市	2011年4月13日	2011年4月13日	•	レジ袋の削減等に関する協定
19	播磨町	2016年2月19日	同左	•	播磨町におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
20	豊中市	2019年3月26日		•	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
21	池田市	2019年3月26日		•	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
22	箕面市	2019年3月26日		•	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
23	吹田市	2019年3月26日		•	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
24	高槻市	2019年3月26日		•	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
25	茨木市	2019年3月26日		•	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
26	摂津市	2019年3月26日		•	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
27	能勢町	2019年3月26日		•	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
28	豊能町	2019年3月26日		•	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
29	島本町	2019年3月26日		•	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
w ma	±(0000/±4E10E)	*###(0000 # 10 B 0 B)	- 焼仕ナれていた物中は 0010年0日	0000	

※豊中市(2008年4月13日)、吹田市(2009年10月2日)に締結されていた協定は、2019年3月26日の北摂地域のマイバッグ協定に包含される。 2022年4月現在締結自治体数:23市6町

環境学習/くらしの見直し【コープこうべ環境基金】 では https://eco.coop-kobe.net/ecofund/



※URLをクリックすると関連情報が表示されます

1.助成団体および助成総額

	単位	2017	2018	2019	2020	2021
助成団体	団体	22	24	25	32	30
助成総額	千円	3,000	3,000	3,000	7,365	6,963
信託財産残高	円	368,842,321	367,201,390	362,946,690	354,107,836	345,610,849

2.2021年度の助成団体 ★:2021年度にはじめて助成を受けた団体

■宇践活動,並及改發部門...20団体

■実記	■実践活動·普及啓発部門···30団体							
	申請団体名	活動内容や助成金の使途						
1	よこおみち森もりの会	神戸市須磨区横尾地区(野路菊育成、低木植栽、雑木林·竹ヤブ整備)。 友が丘地区(竹林道保全、「つつじの森づくり」に向けた植栽)。 ⇒整備用具、安全講習受講等に活用。						
2	NPO法人はりま田舎暮らしの会	年に一度の分蜂期に日本ミツバチを巣箱に誘引、保護・育成を行う。 ⇒巣箱材料費、待ち受け箱ルアー、事務用品、巡回用軽トラ燃料代に活用。						
3	高砂海浜公園海辺の保全集いの会	「アオサ」お掃除大作戦&地曳網イベントを行う。 ⇒アオサ回収用熊手代、回収用カゴ、アオサ堆肥化作業講師代、記録写真&DVD制作代等に活用。						
4	丹波自然友の会	桜の名所山南町「常勝寺」の境内・周辺の樹木名札付け活動・会員研修会を行う。 ⇒プレート、エナメル、スプレー缶、筆、シュロ縄、講師謝金に活用。						
5	神戸生物クラブ	自然観察会の開催。 ⇒ガイドブック、チラシ作成に活用。						
6	★特定非営利活動法人 三木自然愛好研究会	ため池調査・草刈を行う。 ⇒クボタスイング式法面刈り機、レッドデーターブック、会場借用謝礼、軽トラ使用料に活用。						
7	川西生きもの研究会	猪名川本流及び中流域公園・黒川・一庫大路次川・武庫川上流の生物調査、親子水辺の生き物観察会を行う。 ⇒調査用網、観察会用網等に活用。						
8	大和フォレストクラブ	「大和の森」を周辺住民の憩いの場や子供の自然教育の場の機能を充実されるための環境を整える活動を行う。 ⇒草刈り機や肥料、昆虫育成道具等に活用。						
9	須磨ふるさと生きものサポータ	須磨離宮公園、新池外来種防除調査、園内の生物調査を行う。 生物標本製作保存ケース、飼育採集用具等に活用。						
10	六甲山を活用する会	六甲山の里山再生モデル地域の啓発拠点「まちっ子の森」整備、アセビ伐採による森林再生状況の追跡と効果の検証を行う。 ⇒調査関連用具、講師謝金等に活用。						
11	播磨灘を守る会	新舞子西浜及び近隣の浜でのゴミ拾いを行う。 ⇒ゴミ袋代、はがき代、自然・野鳥観察会講師謝金等に活用。						
12	丹波地域のホトケドジョウを守る会	丹波地域の数カ所でしか生息が確認されていないホトケドジョウ保全を目的に、モニタリング調査、 堆積土砂除去を行う。 ⇒検査試薬、生息地補修備品等に活用。						
13	★東多田里山の会	森林整備、散策道になる作業道の整備を行う。 ⇒事務用品消耗品、パンプレット印刷代、案内板の作成費等に活用。						
14	多紀連山のクリンソウを守る会	多紀連山に自生するクリンソウ群生地保護のため、つたや障害樹木の伐採。 自生地及び周辺の生育状況の定点観察を行う。 →遊歩道の整備資材、講師謝金、参考図書購入等に活用。						
15	一般社団法人ハチ北高原自然協会	県指定天然記念物の「大笹のザゼンソウ」群生地の保全のための活動を行う。 ⇒杉の間伐や水源確保のための材料購入に活用。						
16	自然と文化の森協会	猪名川自然林の再生実験活動を行う。 ⇒クラフト用材料費、保全活動用剪定鋏、講師謝金、コピー用紙、消耗品に活用。						
17	ヤッホの森湿地を育む会	たつの市にある、放置されて陸地化がすすむ湿地の不要植物除去、周辺森林の除伐により、 貴重な動植物を保全を行う。 ⇒整備用具・燃料、シカ柵資材等に活用。						
18	雌岡山梅林を育てる会	下草刈、整枝剪定、遊歩道整備など環境整備を行う。 ⇒機械・機具整備(業者に安全操作法講習等を依頼)ガソリン・オイル代等に活用。						
19	NPO法人 PVネット兵庫グローバルサービス	里山林遊歩道の整備を行う。 ⇒森林整備準備作業用品費、倉庫、炭焼き器、チェーンソー講習会参加費、コピー用紙、インクカートリッジ、 地作業交通費に活用。						
20	淡路東浦ため池・里海交流保全協議会	漁業資源を豊かにするため、ため池管理者と漁業者が連携し、かいぼりを行うとともに、小学生の 環境学習フィールドを提供。 ⇒かいぼり用具、鯉の稚魚購入に活用。						
21	★浜坂観光協会	カヤックを使って通常の清掃活動では入れない岩礁地帯、ポケットビーチ、洞窟の奥に滞留している 漂着ゴミの回収を行う。 ⇒ゴミ袋代、漂着物処分料等に活用。						
22	あびき湿原保存会	加西市の生物多様性の維持に資する生態系を保全。 植生、地下水の水質調査を行う地元の学校と連携し、不要動植物の除去、散策路の整備を行う。 ⇒整備用具、肥料等に活用。						

	申請団体名	活動内容や助成金の使途			
23	ブルーアンドグリーンネットワーク	明石及び神戸西部海岸の海浜植物、海藻類、貝類等の生息調査を行う。 ⇒マップ作成・調査関係資材等に活用。			
24	★特定非営利活動法人 北摂里山文化保存会	台場クヌギ解説看板の設置。台場クヌギ解説看板の購入費に活用。			
25	長谷口ミツガシワ湿地保存会	新温泉町で2003年に発見された希少種ミツガシワ保全のため、ヨシの刈り取り、シカ害からの保護柵の設置を行う。 ⇒除草用具、電気柵資材に活用。			
26	兵庫丹波オオムラサキの会	オオムラサキ舞う里山をめざし、生息調査継続によるマップ精度向上、学校の環境学習支援、 増殖・放蝶活動を行う。*飼育ゲージ資材、幼虫調査に活用。			
27	宇治川ホタル研究会	終齢幼虫の放流、成虫羽化の確認、観察会を行う。 ⇒ホタルの保護のための飼育機材、水槽、ポンプ等に活用。			
28	兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会	数少ない生息地であるハチ高原で、幼虫の食草であるオミナエシの植栽、幼虫の飼育・放蝶及び生息地の草刈り、シカ害対策を行う。 ⇒シカ柵・飼育ゲージ資材、種・苗代に使用。			
29	NPO法人たつの・赤トンボを増やそう会	トンボ池の木道に自家製堆肥の効果を見るための飼育カゴの設置し、その後田んぼへの移設等の活動を行う。 ⇒給水システム等に活用。			
30	NPO法人Peace&Nature	植樹、雑木林の整備、伐採した草木の有効活用、SDGsワークショップ等の活用。 ⇒チェーンソー、草刈り機、替刃、収納庫代等に活用。			

■調査研究部門・・・今回応募なし

コープこうべ環境保全のあゆみ

		社会の動き	コープこうべの 考え方と体制づくり	くらしの見直し 活動や地域での活動	商品開発・普及、 包材削減の取り組み	リサイクルの 取り組み	事業活動から発生する 環境負荷削減の取り組み
	1971	環境庁設置					
	1972	国連人間環境会議			田舎娘粒状せっけんを開発		
	1975					空ビン回収システムを整備	
	1977				根菜類13品目のトレイ 包装を廃止		
フロ年代	1978			買い物袋再利用運動を 開始	食品容器包装フィルム を塩ビからポリエチレンに変更全店舗の野菜・果物売り場でノートレイを実施 (一部品目を除く)		
	1979	滋賀県「琵琶湖 の富栄養化防止条 例」公布					
	1981				・有リン洗剤の取り扱いを中止・せっけんキャンペーンを開始・卵パックを塩ビからポリエチレンに		
	1982			排水チェック活動を開始			
80年代	1984					全店でボタン電池の回収 を開始	
年代	1986			第1回琵琶湖親子見学会 を実施			
	1988				タルク入りトレイ(CTFト レイ)の導入		
	1989	フロン全廃宣言採 択(ヘルシンキ会 議)	・総代会で「くらしの見 直し」と地球環境を守 る取り組みを強める」 特別決議を採択 ・環境問題対策会議を設置				食品工場にコジェネシス テムと排水処理・有効利 用設備を導入
	1990			コープの環境月間 スタート	・環境統一マーク商品の 供給を開始 ・水畜産トレイ包装商品 の袋包装への切り替え 開始 ・フロンガス使用のスプ レー式商品の取り扱い を中止	牛乳パックリサイクルが 本格的にスタート	 チラシ、包装紙、コピー紙、レシートなどの再生紙化を実施 業務用コンピューター用紙などの回収を開始
	1991		環境問題推進室設置	買い物袋再利用運動から買い物袋持参運動に	フードブラン第1号商品開発環境統一マーク商品にサブマークを導入	・飲料用アルミ缶、スチール缶、トレイ、ベットボトルのリサイクル開始・クリーニングコーナーのハンガー回収を開始	
	1992	環境と開発に関する国連会議(地球サミット)開催		環境測定活動スタート公益信託「コープ環境基金」を設立			
	1993	環境基本法成立					生産事業部がタービンで 自家発電開始
90年代	1995	容器包装リサイクル法成立	環境マネジメント・環境監査システム本格スタート組合員の環境委員会発足	買い物袋持参運動拡大 (必要な方は1袋5円で 購入いただく方式に)		リサイクル推進功労者表 彰で「通産大臣賞」を 受賞	店舗の生ゴミを回収し堆 肥を作る実験スタート
	1996	ISO14001が 発効	総代会特別決議として 「環境憲章」を採択		・冷蔵庫からのフロン回収を開始・通いコンテナ導入実験を開始	・リサイクル制服を採用 ・タルク入りトレイの再生 原料を利用した買い物 かご導入(~2002)	
	1997	地球温暖化防止京都会議(COP3)開催	環境報告書が環境アク ションプラン大賞(環境 庁長官賞)受賞		小型焼却炉取り扱い自粛	コープミニ全店で5品目 回収開始	芦屋市、尼崎市、伊丹 市の店舗の魚箱リサイク ル開始
	1998	家電リサイクル法成立	コープ武庫之荘 ISO14001取得	コープグリーンロード運 動をスタート	コープラップ(塩化ビニリ デン製)取り扱い中止		 コープ土づくりセンター 完成(全店舗にてゴミの計測開始) (有)みずほ協同農園発足 ディーゼル車のガソリン車への切り替え完了 地球温暖化防止活動大臣表彰(低公害車部門)
	1999		総合品質管理室設置食品工場ISO14001取得		塩素系の食品ラップの取り扱い中止		エコファーム施設の完成

	社会の動き	コープこうべの 考え方と体制づくり	くらしの見直し 活動や地域での活動	商品開発・普及、 包材削減の取り組み	リサイクルの 取り組み	事業活動から発生する 環境負荷削減の取り組み
200	・循環型社会形成推進基本法が成立 ・食品リサイクル法が成立	全事業活動で ISO14001取得	・虹っ子「エコチャレンジ プログラム」をスタート・マイかご、無料レンタ ル袋制度の導入	着物リサイクルショップ 「結」スタート	協同購入の商品情報紙「めーむ」の回収をスタート	
200	31 環境庁が環境省と なる	第一次環境中期計画策定			協同購入で卵パック回収 をスタート	・エコファームを本格 オープン・協同購入センター加古 川にLPGスタンド設置
200	02	•食品工場ISO14001 更新 •環境推進室設置	・エコファームでマイファーム、エコファーム クラブ開始・炭素税に対する見解まとめる・環境学習ボランティア活動開始	食の環境配慮基準策定		・本部エコワーキングス タイル運動開始 ・「第8回全国環境保全 型農業推進コンクー ル」の大賞受賞(みず ほ協同農園)
200	03	全事業でのISO14001 の更新	・虹っ子エコ&フードチャレンジプログラムスタート・コープEARTくらぶが2カ所で立ち上がる		協同購入で卵パック回収を休止	食品工場の廃棄物処理 設備完成
200	04	第二次環境中期計画 策定	・環境省の「地球環境美 化功績賞表彰」受賞 ・電気削減運動を開始		協同購入で卵パック回収を再開	・コープこうべの自主行動計画策定 ・農林水産省の「2004年度バイオマス利活用優良表彰」でバイオマス 活用協議会会長賞受賞
2000年代	05 京都議定書発効	ISO14001の環境 マネジメントシステムを 食品工場と統合	エコチェックキャンペー ン全地域で展開	(有) みずほ協同農園の 大根が「三木市議会議 長賞」受賞フードプラン管理規定 の策定	送時に使用する内袋回収	・食品工場のバイオマス利活用の取り組みが「ひょうごバイオマスecoモデル」第1号に認定・ライトダウンキャンペーン6店舗で試行
200	06	全事業活動でのISO 14001更新	レジ袋のレジ精算スタートに向け、8店舗で先行 実施		協同購入・個人宅配の帳票袋回収スタート	・ライトダウンキャンペーン全店規模で実施 ・コーブ土づくりセンター と子会社の(株)協同は 品センターが「平成18 年度ひょうごバイオマス ecoモデル」に認定
200	07	総代会で「マイバッグ 運動の推進とくらし見 直しに関する」特別決 議採択第三次環境中期計画 策定	レジ袋のレジ精算、食品を扱う150店舗で実施容器包装3R推進環境大臣大賞最優秀賞受賞	コープスお買い物バッグ の開発		
200	・京都議定書第一 約束期間スタート ・G8環境大臣会 合が神戸で開催		・組合員から募集したエコメッセージをG8環境大臣会合に合わせて発信 ・兵庫県、西宮市と企業の森つくり協定締結			バイオディーゼル燃料の 取り組みを開始
200	09		コープの森・社家郷山の 活動方針が「保全活動 推進委員会」で決定			省エネ活動の徹底による CO₂削減の取り組みを、 一部の店舗で実験的に 開始
201	生物多様性条約 第10回締約国会 議(COP10)が愛 知で開催			・フードプラン20周年 ・地産地消推進のためコープスに兵庫県産品をアピールするロゴでようご発でを導入・飼料米を使った「穂の実りたまご」開発	店舗で卵パック・透明ト レイの回収スタート	・コープ神吉を省エネのモデル店舗としてリニューアルオープン・コープミニ御影北の店内照明すべてを実験的にED化・省エネ活動の徹底によるCO₂削減の取り組みを全店展開
1 0 年 代	11 東日本大震災発生	創立90周年を迎え、大阪北生活協同組合と合併 新生コープこうべスタート。大阪北地区が加わり、7地区体制になる				夏場の節電対策を強め、 年間を通じて全事業所で 省エネルギー、CO₂削減 の実施
20	再生可能エネル 12 ギーの固定価格買 取制度開始	「共に生きる、未来につ なげる」を基本方針と して、将来のあるべき コープこうべの姿を模 索する「次代コーブこ うべづくり」プロジェク トをスタート				住吉事務所が関西広域連合エコオフィス大賞「節電の励行部門賞」 を受賞

		社会の動き	コープこうべの 考え方と体制づくり	くらしの見直し 活動や地域での活動	商品開発・普及、 包材削減の取り組み	リサイクルの 取り組み	事業活動から発生する 環境負荷削減の取り組み
	2013		コープこうべのエネルギー 政策を策定	シンポジウム「『コープ の森・社家郷山』の魅力 は高まったか?」開催		アルミ付紙パックの回収 スタート	コープ武庫之荘が省 エネ型店舗としてリニューアルオープン鳴尾浜配送センターで太陽光発電事業を開始
	2014		ISO14001の認証を 返上し、自主運用に切 り替え			・子会社の㈱ゆうあいサポートで店頭回収のペットボトルのブレス作業開始 ・玉津リサイクルセンター稼働(宅配の商品情報紙「めーむ」の圧縮作業を開始)	雑がみの分別回収を全 店展開
	2015	・SDGs採択 ・パリ協定採択		・第3回食と農林漁業の食育優良活動表彰「農林水産大臣賞(企業部門)」を受賞・「おおさか環境賞」の準大賞を受賞・コープの森・社家郷山が環境省「生事を単地里山」(500箇所)に選定・みんなの牧♥里プロジェクトの取り組み開始		・ペットボトルのキャップ の回収開始 ・宅配返品商品のフードバ ンク関西への提供開始	再生可能エネルギーを 利用する電力供給事業 を開始 (コープこうべの42事業 所に電力供給)
10年代	2016	•電力小売全面 自由化 •熊本地震発生				玉津リサイクルセンター で、宅配の商品配達用 ポリ袋の圧縮作業を開始	再生可能エネルギーを利用する電力供給事業を拡大(コープこうべの88事業所に電力供給)
10	2017			店舗でのフードドライブ を初めて実施	エシカル消費の推進をス タート	鳴尾浜リサイクルセン ター稼働	・再生可能エネルギー電力を含む「コープでんき」を組合員に供給する電力小売事業を開始 ・協同購入センター伊丹がスマートKCとして稼働
	2018	・大阪北部地震発生 ・西日本豪雨発生 ・国連気候変動枠 組条約第24回 締約国会議(CO P24)がポーラン ドのカトヴィツェ で開催	環境チャレンジ目標 「エコチャレ2030」 策定	・大阪北地区でレジ袋の無料配布を中止 ・不要になった羽毛(ダウン)回収開始 ・期限の近い商品を購入する「てまえどり」を神戸市内店舗で実験展開			・店舗の管理日数切れ商品をフードバンクへの提供開始 ・脱プラプロジェクトチームの発足 ・太陽光発電の「自家発電・自家消費」の事業所を拡大
	2019	 ・プラスチック資源 循環で大阪で大阪で開催 ・東日子・東野・東野・東野・東野・東野・東野・東野・東野・東野・東野・東野・東野・東野・	プラスチック使用に関す る基本方針を策定	・「わたしのSDGsアクションコンテスト」として地域の未来づくりに取り組む活動を募集・フードドライブの常時受付開始・コーブこうべ環境基金の助成金額・対象を拡充・「てまえどり」を全店展開・コープ西宮東など3店舗でレジ袋の無料配布を全面中止	ラベルレスボトル飲料 1本につき2円を兵庫県 の「生物多様性ひょうご 基金」に寄付		・住宅用太陽光発電の余剰電力買取サービスを開始 ・再生可能エネルギー 100%施設を開始 ・エコファームでソーラーシェアリングを開始
20年代	2020	・レジ袋有料化義 務化省令が施行	•マイバッグ運動の新た な展開「マイバッグ運 動NEXT」スタート	・新たに4店舗で、フードドライブの常時受付開始 ・レジ袋の無料配布全面中止 ・第8回食品産業「もったいない大賞」の農林水産大臣賞「もったしめの ・第2回「わたしの SDGsアクションコンテスト」をオンラインで開催	・再生プラスチック50% を配合したレジ袋を 採用	・宅配でのフードドライブを開始 ・羽毛布団・ダウンジャケットの回収店舗を29店舗に拡大 ・寄付機能付き「ペットボトル圧縮機」をコープ北口食彩館に設置 ・おいたのでは、これでは、おいたのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・再エネ100%事業所を 拡大(全59事業所)
年代	2021			・環境配慮型モデル店舗のコープ西宮南でオンライン見学会を開催・鳴尾浜、玉津リサイクルセンターの夏休みの親子オンライン見学会を開催・コープ龍野で地域と共催し「プラエコデー」を開催・わたしのSDGsアクションフォーラムを開催	•海洋プラスチックの「買い物かご」を採用	・洗剤やシャンプーの使用済みでを神戸市内の33店舗で開始・東播磨地域におけいの「ボトルの「ボトルはのボトル」が平りサイクルに参加協力・新たに3店部に寄付機能付き「ベットボトル圧縮機」を設置	・太陽光発電の「自家発電・自家消費」の事業所を拡大 ・「水車新田小水力発電所」からの電源調達を開始